

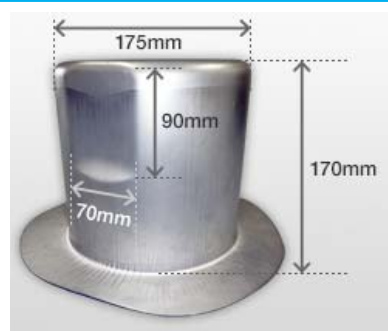


プレス加工コストダウンニュース

材質を問わず、薄く、強く、軽く、板厚も均一に、形状も自由自在に加工できる高度な深絞りの技術を持つ加藤製作所なら、必ず安心・安全な製品づくりのお役に立てます。



アルミ鋼板の深絞り加工！



こちらの製品は、床暖房機ボイラーの燃焼筒用向けの部品です。耐熱性が求められる環境である為に、通常の鋼材を用いると熱による歪み等が発生してしまう為、冷延鋼板にアルミニウムシリコン合金と溶融めっきを施すことで耐熱性・熱反射性を高めた材質を使用しています。この場合、めっき面が軟質である為に慣用の絞り加工を行うとめっき部分が損なわれる可能性があり配慮した加工が必要です。

そこで当社では、パンチと水圧で加工を行う対向液圧プレスによる成形を行うことで量産を実現しました。品質も安定させつつ量産メリットの提案が可能となります。深絞り加工品でお困りの方は当社に任せてください。

ワーク名称：カバー 加工方法：絞り加工
業界：家電 材質：アルミ鋼板

真円度0.08mmの高精度深絞り加工品！

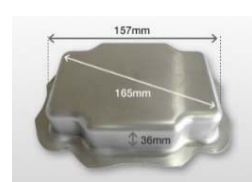


こちらの製品は、エアコンに使用するセンサー部品です。真円度要求の高い製品で0.08mmの加工精度が求められています。塑性加工で行うと考えると非常に高い精度が要求される製品であり、仕上げ加工が必要となるのが一般的です。しかし、数量が出る為に板金+機械加工ではコストアップ要因となってしまいます。そこで、当社ではこちらの製品を深絞り加工を行う様に提案を行いました。

この結果、加工時間の短縮・コストダウンに成功しました。当社では、板金加工品や製缶加工品に対してもコスト低減につながるような提案を数多く行っています。量産品のコストダウンなら絞り加工の加藤製作所にお任せください。

ワーク名称：タンク 加工方法：絞り加工
業界：空調 材質：SUS304

当社の加工技術・加工領域に関するご紹介



アルミプレス品

対向液圧プレスによる絞り加工技術③

対向液圧プレスによる絞り加工技術についてご紹介をします。今回は、慣用絞り加工と対向液圧プレスによる絞り加工での材質への影響について説明します。一般的な絞り加工では、ステンレスやアルミ、チタン、鉄系材を用いた場合に、工程数が多くなることで材料本体の硬化や焼き付きが発生し、割れやすく、キズが付きやすいものとなります。この結果、材料だけでなく金型にも悪影響を与える為に、不良の原因となってしまいます。

一方、対向液圧プレスでの成形では、工程数を少なくすることができるので不良原因を根本から解決することができ、様々な材質を用いた深絞り加工が実現可能となっています。

チタンプレス品



対向液圧プレスで
様々な材質の深絞りを実現

～今月の一言～



最新ニュース：テレビ愛知にとりあげられました！

2017年7月22日にテレビ愛知で放送された「ザ・ビッグプロジェクト～下町おやじの日の丸ジェット～」で半世紀ぶりとなる国産旅客機「MRJ」の開発に携わった一企業として当社が取り上げられました。こちらの番組では、三菱重工業が行った国産ジェット開発に対してサプライヤーとして携わった企業について紹介をしています。当社は、絞り加工により、主翼部品の提供を行ったサプライヤーとして紹介され、本ニュースでも取り上げている対向液圧プレスによる絞り加工技術がクローズアップされました。

深絞り技術をご紹介します！カバー・タンクなどの設計・製作でお困りの際には、ご相談ください！

株式会社加藤製作所では、プレス加工技術の中でも絞り加工技術を得意とし、タンク・カバー部品などの量産加工に対応しています。対応可能な材質は、鉄系の材料はもちろん、ステンレス・アルミ・チタン・ハステロイ等、様々です。技術ニュース内でご紹介をした以外にも、これまでに製作してきた事例などを絞り加工.comに随時更新してまいります。量産品の設計される際に、考えて頂きたいプレス加工におけるポイントなども掲載しています。ご不明点や知りたい情報がありましたら、お気軽にご相談ください！

絞り加工、プレス絞り加工、絞り、深絞り

絞り加工.COM

複雑な形状の深絞り加工 加工の難しい材質の深絞り

☎ 0573-65-4175

FAX 0573-65-4177

株式会社加藤製作所

担当/営業部 西尾・兼松 (アシスタント 吉田)